



第4号

1997.6.30



編集発行
都市生活地域復興センター
兵庫県西宮市津門西口町7-3
TEL 0798-36-6679
FAX 0798-36-5114
Email pancer@lib.bekkoame.or.jp

もうひとつの地域づくりをみだして

生協都市生活の組合員組織は地域ごとに7つの支部に分かれています。組合員の多彩な活動は基本的に支部の独自性が発揮されます。97年度からはスタッフ制度の導入にともない、支部の活動の一層の活性化がはかられています。他方、震災をきっかけに新しく生まれた生活応援部会は震災後の混乱期に結成されたこともあって、組織上は理事会付きとなっています。しかし、「福祉を軸にしたもうひとつの地域づくり」という応援部会の方向性がより鮮明になっていくなか、応援部会の活動を活性化し、より地域に密着したものにしていくためには支部の他の活動とクロスしていくことが重要になってきました。そんな折り、6月27日に「たまねぎの会」と西宮支部リーダー会議との意見交換会が復興センターで行われました。その時のやりとりの一部をここに紹介します。



たまねぎの会と西宮支部リーダー会議との意見交換会
= 6月27日、地域復興センター

たまねぎであい支部



A: 支部の中で「たまねぎ」ってどんな位置にあるのか最近気になるよね。支部の新しいしくみの中だと、支部スタッフの一部として支部の運営に「たまねぎ」が参加するってことになるのかな？この2年半、支部との距離をあえて置いてきたようなところがあるから、微妙な問題がいろいろあるような気がするの。

B: 支部スタッフになるかどうかなんて今の時点じゃわからないわ。ところで位置づけの必要性はどこからでてきたわけ？まさか、お金がなくなってきたから支部に頼ろう、ってことでもないわよね(笑)？

A: 当たり前でしょ(笑)。応援部会の各グループの所属支部との関係はいろいろあるわけよ。ただね、今年の総代会で

は活動として福祉の分野に踏み込みたいってうたってるわよね。「地域に開かれた福祉活動」を目指さなければならぬのは当然としても、組合員自身の高齢化って問題もあるし、いわゆる「個人対応」の問題もこの視覚から考えてみる必要があるんじゃない？そろそろ支部自身も方向性を出していく時期にさしかかってるんじゃないかと……

C: まあまあ、あまり先走らない方がいいわよ。なにしろまだ始まったばかりのことなんだから、支部の体勢づくりも「たまねぎ」の活動も。

ただし、西宮支部での地震からの2年半の経過を確認しておく必要はあるわね。正直にいうと、震災直後は救援活動を組合員活動の中にうまく位置づけることができなかった。避難所での炊き出しボラ

ンティアは組合員活動かどうか、ということが支部レベルではきちんと合意されてはなかったのね。震災の混乱の中で支部は機能できなかったから、これは仕方がないことなんだけど。でもやっぱり情報交換と調整の必要はあったから連絡会議をつくったのよね。

大事なポイントは支部が機能できなかったあの混乱の時でも個々の活動があったということだと思うの。力は分散してたかもしれないけどね。そういう個々の力が発揮される場が必要だけじゃなく支部は動けない、じゃあどうすればいいんだろうということでも連絡会議の中で話合って実験的に始めた自主活動が「であいのネットワーク」なのね。「たまねぎ」は「であいのネットワーク」で「であった」何人かの組合員が自主的に仮設住宅で何かできないかしら、ということでスタートしたグループってことになるかしら。

D: なんだかずいぶん難しくてややこしい話になってきたわね(笑)。結局、支部スタッフの募集とたまねぎの結成とは同じことじゃないかしら？アメーバ的というか……

C: そう、それぞれ。横断的というか、縦割りにおさまらない部分、テーマ別の活動とそれを具体化するプロジェクトの必要性、……

E: ちょっと待った！それこそ先走りよ(笑)。こころで少し話題を変えましょ。

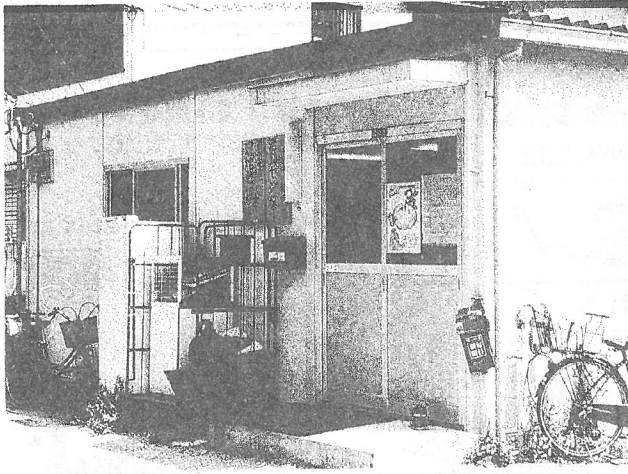


7月の予定

- 2日(水) ポーアイ手渡し共同購 (神戸、by あまいる)
- 9日(水) ポーアイ手渡し共同購入
- 10日(木) ポートアイ第3仮設茶話会 (神戸、by あまいる)
たまねぎサロン (復興センター、by たまねぎの会)
- 11日(金) 老人昼食会 (尼崎、by わがは)
- 15日(火) 西神11仮設茶話会 (神戸、by 2hくらう豆)
- 16日(水) ポーアイ手渡し共同購入
- 17日(木) 生活応援部会
- 23日(水) ポーアイ手渡し共同購入
桃山台老人ホーム喫茶室 (神戸、by かけ橋)
- 24日(木) 北河原仮設交流会 (伊丹、by さくらんぼ)
西宮浜ふれあいセンター交流会 (西宮、by たまねぎの会)
- 26日(土) 復興センター運営会議 (復興センター)



復興センターってこんなところですよ



都市生活地域復興センターって
こんなところですよ

建物としてのセンター

都市生活地域復興センターがある西宮市は神戸、芦屋と並ぶ激震地で、死者は1千人を超え、全半壊世帯数は6万にも上りました。仮設住宅にはピーク時で約5千戸の入居がありました(現時点では3千戸前後と思われます)。JR西宮駅からまっすぐ南に五百メートルほど下がった住宅街にセンターの建物があります。事務室、会議室、倉庫、駐車場からなる平屋のプレハブのこの建物は生協都市生活(以下、都市生活)の組合員活動センターをも兼ねています。会議室は、西宮、尼崎、東神戸各支部の活動や都市生活本部関連の会議、ハングル講座などでほぼ毎日使われています。また、2ヶ月に一度は、ボランティアグループ「たまねぎの会」が仮設住宅を含む近所のお年寄りをお招きする昼食交流会「たまねぎサロン」の会場にもなります。

センターのネットワーク

復興センターの前身は震災直後の95年2月に設けられた「都市生活現地救援本部」です。よく誤解されるのですが、現地救援本部は都市生活の内部機関ではなく、都市生活による救援活動を応援するために、大阪事業連、生活クラブ連合、グリーンコープ連合など友好生協によって設置された機関です。震災から1年以上経過した96年3月、「救援」の時期は終わったとして現地救援本部は「解消」されましたが、被災地の再生・復興の道のは険しく、長期の取り組みが求められて

いました。そこで、1年余にわたる救援活動を新たに組み立て直して都市生活も主体として参加し、友好生協等も何らかの形で参加する新しい機関が構想され、96年4月には都市生活地域復興センター準備会が発足しました。97年1月に正式に設立された都市生活地域復興センターは「地域の再生」を目的として都市生活、友好生協、生産者等、諸団体/個人などが会員として参加し運営するネットワーク体です。

センターの活動

本紙「CoCo」に掲載されている記事はほとんどが都市生活内の生活応援部会の活動です。生活応援部会は簡単にいえば都市生活組合員のボランティアグループの集まりで、それぞれのグループは震災をきっかけに生まれ、それぞれの地域で活動しています。また、大阪の泉北生協

内にはボランティア会議があり、神戸の被災者や大阪府下の仮設住宅の支援を独自に行っています。地域復興センターはこれらのグループのお手伝い・連絡・情報提供などをします。これがセンターの第1の仕事です。

センターのもうひとつの仕事は生協のネットワークとは異なる他の団体と協力して復興に取り組んでいくことです。たとえば、センターではいま、仮設住宅内で米を安価に供給するために「お米プロジェクト」という取り組みを行っています。これは西宮の「西宮・地域たすけあいネットワーク」、「プロジェクト結ぶ」、尼崎の「マイム・マイム」という3つのボランティア団体との共同プロジェクトです。また、災害保障制度について市民レベルで研究や提言を行っている「公的補償を求める有志の会」は事務局を復興センター内に置いています。

センターの財政

地域復興センターの活動・運営資金は会員の会費とカンパ金等によってまかなわれています。現在のところ、会費はまだ目標値の半分にも届いていません。安定した活動を続けるためにも会員の増加が求められています。

復興センターの財政を支える

◆賛助会員募集◆

入会金 500円以上

年会費 一口 500円(個人) から

振込口座: さくら銀行今津出張所

普通預金 3527620

名義: 都市生活地域復興センター

池田啓一

詳しくは復興センター

tel 0798-36-6679 まで

INFORMATION

■次号お知らせ□

「港島」はココへ行く?

95年6月下旬、ポートアイランド仮設でグループ「すまいる」による移動青空市が始まりました。あれからもう2年。仮設の中でも外でもいろいろなことがありました。青空市も今は「手渡し共同購入」に形を変えています。真夏のギラつく太陽を避けるため購入した2基のとっても便利な折り畳み式簡易テントも、1基は酷使に耐えかねとうとう支柱が折れました。次号では、3度目の夏を迎えた「すまいる」の活動を御紹介します。

INFORMATION



6月

- 4日 ポーアイ手渡し共同購入 (by すまいる)
- お米プロジェクト (西神3・11仮設, by 2hくらぶ)
- 5日 ポーアイ第3仮設茶話会 (by すまいる)
- 11日 ポーアイ手渡し共同購入 (by すまいる)
- 12日 グループ「かけ橋」勉強会
- 13日 ハングル講座 (復興センター)
- ボランティア意見交換会 (西宮サポート協会)
- 坂本宗久氏講演・講習会 (特養老人ホーム園田苑)

センターの活動日誌

- 18日 ポーアイ手渡し共同購入 (by すまいる)
- 19日 生活応援部会会議
- 25日 ポーアイ手渡し共同購入 (by すまいる)
- しみんふくし生協(準)見学会 (滋賀県野洲町)
- 26日 萩野仮設交流会 (伊丹, by さくらんぼ)
- 西宮浜仮設交流会 (西宮, by たまねぎの会)

※わかばの昼食会は台風のため中止